

回 覧



平塚市体協ニュース

第65号 平成31年3月31日

平塚市体育協会機関誌

平成30年度

平塚市スポーツ優秀選手及び団体 17氏3団体を表彰

- 【個人】(敬称略・五十音順)
朝比奈 沙羅 2018年バレー世界選手権大会 柔道女子78kg超級 優勝
安藤 夢 2018日本学生陸上競技個人選手権大会・天皇賜盃第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 陸上競技(円盤投げ)優勝
市川 巧基 第33回全日本学生ライフセービング選手権大会 男子ビーチリレー 優勝
伊藤 好信 平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会 柔道男子100kg級 優勝
井本 佳伸 第34回U20日本陸上競技選手権大会 陸上競技男子200m・第34回静岡国際陸上競技大会 陸上競技男子400m 優勝
氏家 一郎 第28回全日本実業団ベンチプレス選手権大会 男子マスターズⅢ+120kg級 優勝
海野 隆司 第29回ハーレムベースボールウィーク 硬式野球 優勝
太田 彪雅 平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会 柔道男子100kg超級 優勝
小郷 賢人 第29回ハーレムベースボールウィーク 硬式野球 優勝
後藤 龍真 第30回全国体育系学生柔道体重別選手権大会 柔道男子100kg級 優勝
嶋津 俊哉 第33回全日本学生ライフセービング選手権大会 男子ビーチリレー・男子ビーチスプリント 優勝
竹内 鈴 平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会 柔道女子57kg級 優勝
立川 新 2018年バクー世界選手権大会 柔道男子団体戦73kg級・平成30年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 柔道男子73kg級 優勝
デーデー ブルノ 第34回U20日本陸上競技選手権大会 陸上競技男子100m 優勝
富沢 佳奈 平成30年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会・平成30年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 柔道女子57kg級 優勝

平成30年度 神奈川県体育功労者表彰



平成三十一年一月十二日、平成三十年度神奈川県体育功労者表彰が神奈川県横浜西公会堂で行われました。平塚バスケットボール協会名誉顧問の木島俊雄氏がこの荣誉に浴しました。
◆木島 俊雄氏 (平塚バスケットボール協会名誉顧問)
神奈川県体育・スポーツの振興に功績のあった個人及び団体並びにスポーツの競技大会で優秀な成績を収め、県のスポーツ水準の向上に功績のあった個人、団体が表彰される「神奈川県体育功労者表彰」を受賞。平塚市のバスケットボール競技の普及・発展及びスポーツ振興に尽力。

平成30年度

平塚市体育協会 体育功労者5氏を表彰

平成三十一年二月十一日、平塚市体育協会納会において、平成三十年度平塚市体育協会体育功労者五氏の表彰を行いました。ここに主な功績を、紹介します(五十音順)。

◆黄海 雄二氏 (平塚市弓道協会)

県大会団体優勝、西湘大会団体優勝、大和まほろば射会優勝、南足柄金太郎祭り射会優勝、その他入賞多数。県大会代表選手や監督として活躍してきた。

平塚市弓道協会が横浜の弓道場で活動している頃から在籍している数少ない会員であり、入会してすぐに西湘地区、県大会射会で活躍し、現在の宮田会長や南雲副会長とともに協会発展に尽力した。

平塚市弓道協会の行事や神奈川県弓道連盟の評議員の仕事を通して、他団体との交流も積極的に、平塚市弓道協会を支え、牽引してきた。

弓道教室の講師として丁寧な指導を心掛け、困っている会員に対しては常に変わらぬ態度で接し、また、自らも昇段に向けて、挑戦を続けている姿勢も幅広い年齢層からの模範となり、会員

◆奈須川 良太 文部科学大臣杯平成30年度全日本学生レスリング選手権大会・JOCジュニアオリンピックカップ大会2018年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 レスリング グレコローマンスタイル87kg級 優勝
◆林 誠海 第33回全日本学生ライフセービング選手権大会 男子オープン シャンマンリレー 優勝

人、秋山皓太、平岩玄、春日恒太郎、大倉龍之介、中村碧杜、笹倉怜寿、寺嶋良、西田優大、津屋一球、大倉颯太、佐土原遼、八村阿蓮
◆石井・村上ペア 第18回アジア競技大会 ビーチバレー団体優勝 (監督) 望月 剛 (選手) 石井美樹 村上めぐみ



※写真は前列左から、陸川章氏(東海大学バスケットボール部)、氏家一郎氏、鈴木喜明平塚市まちづくり財団理事長、落合克宏平塚市長、田中國義平塚市体育協会会長、市川巧基氏、林誠海氏
2列目左から、春日恒太郎氏(東海大学バスケットボール部)、安達健太氏(東海大学柔道部)、小郷賢人氏、海野隆司氏、嶋津俊哉氏
3列目左から、寺嶋良氏(東海大学バスケットボール部)、松村颯祐氏(東海大学柔道部)、後藤龍真氏

からの信頼も厚い。

平塚弓道会の副会長に就任後も裏方の仕事を快く引き受け、平塚弓道会を支えている。

以上、弓道競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。

◆竹中 信隆氏 (平塚柔道協会)

平塚柔道協会入会后、二十四年間にわたり、同協会の少年部の指導を担当し、各大会にも小学生と共に随行し、多くの小学生を育成した。

平塚柔道協会の理事となり、協会主催の大会はもろろんのこと、各種大会にも協会代表審査員として貢献する。

自らも、平成二十七年に同協会の中でも数少ない六段の昇段をする。

平成二十五年には同協会の少年部の育成と運営についての検討委員となり、新しい提案をし、少年部の基盤を作った。県代表

となった少年部を強化した指導者の一人である。以上、青少年の健全育成、柔道競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。

◆古正 昌男氏 (平塚山岳協会)

昭和三十一年に平塚山岳協会に加入されてのち、平塚市民登山や市民ハイキング等で役員として安全登山の指導を三十年にわたり務めた。

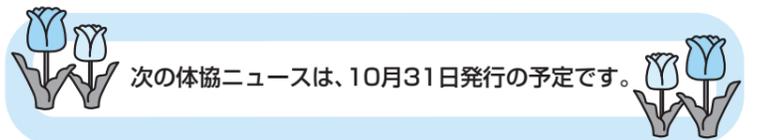
神奈川県山岳連盟においても、山岳連盟役員を二度にわたり二十年間と自然保護委員においても十五年間務めた。

平成十五年に取得した日本スポーツ協会山岳上級指導員として平塚市民の登山の啓発、指導に尽力し、平成十六年には山岳会「湘南ひよこ」を設立している。

二十三年間、平塚山岳協会の理事、副理事長の職務を果たしている。以上、山岳競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。

◆源 雅子氏 (平塚なぎなた協会)

平成十年四月の平塚なぎなた協会加入当初から、総務委員として全日本なぎなた連盟及び神奈川県なぎなた連盟との連絡調整を担う。また、昇段、昇級の審査や協会の会計補佐を担う(2面へ続く)



広報委員 中戸川 康夫/重田 明/金子 理人/南雲 弘/星加 悦高/宮田 実

平塚市体育協会機関誌 「平塚市体協ニュース」 第65号
発行日 平成31年3月31日
発行人 会長 田 中國義
発行所 平塚市体育協会事務局
平塚市浅間町9-1
電話 0463(31)3060
FAX 0463(34)5522



(2面より続く)の皆様にも楽しんでいただいています。平塚市はテニスが盛り上がりつつある街だな、と皆様に感じていただけるよう、これからも、微力ながら頑張っていきたいと思えます。

平塚ボウリング協会は、昭和五十三年十月に創立し、昨年、四十周年を迎えました。創立当時、ボウリングは娯楽という考え方もあり、「ボウリング競技」として認識されるまでは大変な苦労がありました。創立時はボウリングブームもあり、ボウリングができる多くの施設がありましたが、現在、大会として利用できる施設は平塚市で一か所だけになっています。当協会の主な活動は、平塚市、小田原市、秦野市、茅ヶ崎市、大磯町、寒川町の協会と進めている四市二町親善大会や、神奈川県ボウリング協会主催の大会への参加、ジュニアスクール、一般参加者向けのボウリング教室です。現在では、ボウリングは生涯ス

平塚ボウリング協会



ポーツ、健康のためのスポーツ、としてシニア世代を中心に少しずつ、ブームを起し始めていますと感じています。今年、平塚ボウリング協会から、高校生がプロテストを受けることになっていきます。今後、ジュニアの育成や地域との関わりに力を入れ、ボウリング人口が多くなるよう努力していきたいと思えます。

平塚市ヨット協会

平塚市ヨット協会は、一九七三年頃から馬入川でヨットに乗っていた仲間が集まり、「馬入ヨットクラブ」を設立したことに始まり、その後一九八八年に平塚市体育協会へ加盟致しました。当時、馬入川で「平塚市長杯ヨットレース」



や「子供向けヨット教室」を開催したり、小型のクルージングヨットでは、元旦初日の出クルージングをはじめ、三浦半島油壺沖のレースに参戦、また、伊豆大島波浮港までのクルージングを行ったりしていました。近年では、江の島で行われる神奈川県セーリング連盟主催のクルージング、七月・新島クルージングなどを通じて他県との交流も図っております。三月のスポーツフェスティバルでは市民の皆様が生涯スポーツのヨット普及イベントを行っています。二〇二〇年のオリンピックヨット競技が江の島で開催されることに伴い、ヨットに対する市民の皆様への関心も高まっております。ジュニアヨット世界選手権に参戦する将来有望な市民の方も多いと思います。皆様、生涯スポーツのヨットを始めませんか。



※写真は左から、横山邦夫氏(平塚市ゴルフ協会、源雅子氏(平塚なぎなた協会、黄海雄二氏(平塚市弓道協会、古正昌男氏(平塚山岳協会、竹中信隆氏(平塚柔道協会、田中國義(平塚市体育協会)会長

(1面より続く)ど、協会運営に貢献している。平成十三年に平塚なぎなた協会理事(事務局)に就任してからも、神奈川県なぎなた連盟とのパイプ役、また、平塚なぎなた協会のみならず、平塚市に活動している。

平成二十年四月から神奈川県なぎなた連盟の理事として書記、現在は会計の重責を担う。平塚なぎなた協会の大会や行事、神奈川県主催の各種大会、審査会、関東ブロック大会、高校生大会、全日本主催青少年なぎなた錬成大会においても、大

会運営役員や委員として活躍している。自身もなぎなたの研鑽を積み、平成十九年十二月第三種公認審判員、平成二十二年十月スポーツ指導員、平成二十三年四月に四段位の各資格を取得する。毎年複数回行われる各研修会にも積極的に参加し、資格を活かして指導にあたっている。永年の貢献により協会員からの信頼も厚く、平塚なぎなた協会を事務方、指導者として両面から支える重要な人物である。以上、なぎなた競技の普及発展に寄与した功績は顕著である。

横山 邦夫氏

(平塚市ゴルフ協会) 平塚市ゴルフ協会が設立する前、一九七五年の二十四歳の時からゴルフを始める。三十歳の頃には日刊スポーツシニグル選手権・全日本パブリック選手権等、様々な競技に進む実力の持ち主であった。一九八三年に平塚市ゴルフ協会が設立されると同時に入会し、その年に行われた第一回平塚市民ゴルフ大会では優勝という実績を残した。所属クラブのチャンピオン三回(一九八五年、一九九五年、一九九七年)、理事長杯二回(一九八七年、一九九六年、神奈川県ゴルフ協会アマチュアゴ

加盟団体だより

平塚市テニス協会

私どもの協会は一九六三年に設立され、以来、平塚市におけるテニス競技の普及に努めてまいりました。近年は錦織圭選手、大坂なおみ選手といった世界的にもトップレベルで戦える日本人選手が出てきて、国内のテニス熱も大変盛り上がっています。また、昨年は平塚市出身の穂積絵莉選手が四大大会の全仏オープンで女子ダブルスで準優勝し、今後ますますの活躍

が期待されています。平塚市テニス協会としてもこの流れに負けないよう、三月のスポーツフェスタ、七月の毎週日曜に行われる早朝テニス教室、そして九月二十三日のテニスの日のテニスクリニック等、老若男女がレベルを問わずテニスに触れ合えるイベントを多数開催しています。また、市民の皆様や協会加盟団体の方が自由に参加できる大会を年間通して開催し、上級者

(3面へ続く)